

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月19日 更新

事務事業名		合志音頭制作普及事業				☐ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	政策部	課長名	松田 勝
	施策	1	市民参画によるまちづくりの推進			所属課	商工振興課	担当者名	田代 真紀
	施策の柱	2	地域づくり(まちづくり)活動機会の確保			所属班	商工振興班	(内線)	1273
予算科目		会計一般	款7	項1	目2	事業連番11524	根拠法令	成果優先度評価結果	⑦
								コスト削減優先度評価結果	⑥
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 ☒ 期間限定複数年度 (開始年度 22 ~ 30 年度)		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	平成22年度に合志市民の一体感を高める為、合志市音頭を制作し、市外へも広く合志市のPRを行うため歌詞の公募を実施した。制作後は多くの市民が音頭に触れる機会を作る為、自治会や学校等にCDを配付した。 現在はCDの一般販売および振付講師の派遣を行っており、更なる普及活動に努めている。
【業務の流れ】	各種団体より振付講師の派遣依頼があった際に、市から講師へ依頼し、講習会終了後に講師へ費用弁償を支払う。
【主な予算費目】	費用弁償
【意見や要望】	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動)(DO)		29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
振付講習会への講師派遣		29年度も引き続き前年同様の活動を展開していく。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア音頭振付講師派遣回数(のべ回数)	回	
→イ		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
市民	→ア人口	人
	→イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
交流を深め一体感を高める。	→ア小中学校や各地区等で音頭を使用した件数	件
	→イ	
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
成果指標は、市民の参加が多い小中学校行事や夏祭り等での使用回数を設定。目標値については、各地区で行われる夏祭りの回数をベースに設定。		全体計画 ~30年度
		2,479

(2) 各指標・総事業費の推移										
		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	見込	見込
① 活動指標		ア回	5	7	5	3	5	5		
② 対象指標		アイ人	59,067	6,008	60,100	61,022	60,900	61,500		
③ 成果指標		アイ件	20	20	20	20	20	20		
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	6		1	3	1	5	
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	20	31	32	3	32	28	
		(A) 事業費計	千円	26	31	33	6	33	33	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	
	人件 費	正規職員従事人数	人	3	2	1	2	1	1	
		延べ業務時間	時間	22	21	20	80	20	20	
		(B)人件費計	千円	87	77	79	0	79	79	
	トータルコスト(A)+(B)		千円	113	108	112	6	112	112	

事務事業名	合志音頭制作普及事業	所属部	政策部	所属課	商工振興課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☒ 達成した 各地で音頭の練習、実施をしていただいた。 ☐ 達成しなかった ⇒ 【原因】
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 自治会等への普及も進んでおり達成の見込みあり。 ☐ 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒ 【理由】 今後も継続して普及活動を行うことで、向上の余地あり。 ☐ 向上余地がない ⇒ 【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】 音頭制作に関しては類似事業はないが、普及活動については、軽スポーツの普及や生涯学習の場を活用することは可能である。 ☐ 他に手段がない ⇒ 【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 予算は、振付講師派遣時の講師の費用弁償のみであるため削減の余地はない。 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 普及活動のみの人件費であるため削減の余地はない。 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 将来にわたって市民に広く普及し、継承していくものであり、公平・公正である。 ☒ 公平・公正である ⇒ 【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 合志音頭は市のシンボルであり、行政が制作し普及を行うことは役割分担として適正である。 ☒ 役割分担は適正である ⇒ 【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

振り付け講師の派遣を通じ、合志音頭の普及促進に貢献している。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☒ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

継続して実施することで改善につながる

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策